

陸前高田市立図書館・立教大学 共催

# 作家上橋菜穂子さん 講演会

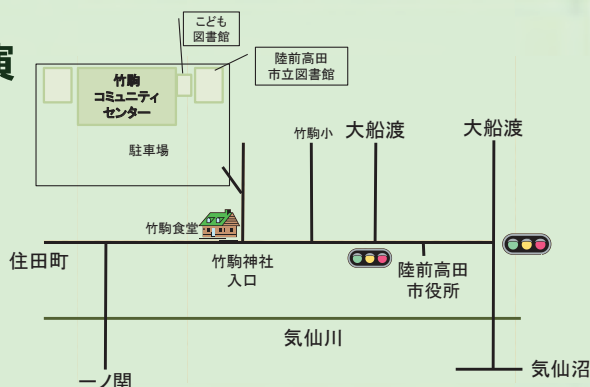
物語ること、  
生きること



上橋さんは“小さなノーベル賞”とも言われる国際アンデルセン賞作家賞を2014年に受賞されました。  
『精霊の守り人』『獣の奏者』など、上橋さんが描く異世界ファンタジーは多くの人々を魅了しています。  
この講演会で、上橋菜穂子さんの“物語ること、生きること”の原点についてお話しいたします。



**日 時** 2014年10月5日(日)  
10:00開場 10:30開演  
**場 所** 陸前高田市  
竹駒コミュニティセンター  
**参加費** 無料  
**定 員** 100名  
**参加申込** 陸前高田市立図書館に  
お電話でお申込みください。



お問合せ・参加申込 : 陸前高田市立図書館 0192(54)3227 担当:長谷川

## 講師紹介

### 上橋 菜穂子

作家。川村学園女子大学特任教授。

立教大学大学院博士課程後期課程単位取得満期退学（文学博士）。

日本文化人類学会，日本オセアニア学会，各会員など。

2014年度国際アンデルセン賞作家賞受賞。

著書：『精霊の守り人』（野間児童文芸新人賞受賞）

『闇の守り人』（日本児童文学者協会賞受賞）

『天と地の守り人』，『獣の奏者』ほか多数。

### ☆国際アンデルセン賞とは？

有名なデンマークの童話作家，ハンス・クリスチャン・アンデルセン（Hans Christian Andersen）の名を冠した「国際アンデルセン賞(Hans Christian Andersen Awards)」は，子どもの本の分野における最高の国際的な賞で，「小さなノーベル賞」などともいわれています。

国際アンデルセン賞は，1953年に国際児童図書評議会(International Board on Books for Young People: IBBY)により創設され，その目的は「子どものために書くこと描くことを推奨し，子どもの本のための仕事を促進し，すぐれた作品の翻訳を助成することによって，世界中にすぐれた本を行きわたらせることにある」とされています。

この賞には作家賞と画家賞があります。現存する作家および画家を対象に，個々の作品ではなく，作家の全業績が評価され，IBBY各国支部より推薦された候補者の中から，国際選考委員会によって受賞者が選定されます。日本では過去に，作家賞をまど・みちおさん，画家賞を赤羽末吉さんと安野光雅さんが受賞しています。

2014年の授与式は9月10日に，メキシコシティで開催されるIBBY世界大会で開催されます。

### ◇陸前高田市立図書館からのお知らせ◇

陸前高田市立図書館では，6月から月2回の予定で，「読書会—上橋菜穂子を読む会」を行っています。茶話会を交えながら，上橋さんの作品を声を出して輪読して感想を伝え合ったり，作品や上橋さんのことを皆で話しています。『精霊の守り人』がテキストです。また8月には同図書館内で「上橋菜穂子コーナー」を設置して，上橋さんの作品を紹介していきます。詳細は，陸前高田市立図書館（TEL 0192-54-3227 担当:長谷川）までお問合せください。